

## 東京言語研究所 公開講座

# フィールドワーク:未知の言語との遭遇

＜講師＞ 大角 翠氏

(東京女子大学名誉教授/言語学)

＜日時＞2019年5月25日(土) 14:00～17:00

＜会場＞東京言語研究所

(新宿区大久保 1-3-21 新宿TXビル2階 ラボ教育センター内)

※新しい教室に移転しましたのでご注意ください

＜参加費＞一般 2,000 円

学生, ラボ・チューター 1,500 円

\*2019年度理論言語学講座受講生は1000円

※参加費は当日現金でお支払下さい。

定員  
50名

＜申込み＞「ホームページ申込みフォーム」、もしくは「FAX(HPよりダウンロード)」で

お申し込みください。4月22日より申込開始

- ①公開講座受講希望 ②氏名 ③フリガナ ④性別 ⑤住所 ⑥電話番号
- ⑦Eメールアドレス ⑧区分(2019年度理論言語学講座受講生・一般・学生)
- ⑨所属(大学生・大学院生・教員・会社員・その他)

(上記情報は東京言語研究所事業以外には一切使用いたしません。)

**講師略歴:** 東京女子大学学士(英米文学)、東京大学修士(英語学)、パリ大学博士課程修了(言語学)、オーストラリア国立大学Ph.D。シドニー大学lecturer、名桜大学教授、東京女子大学教授を経て、東京女子大学名誉教授。専門はニューカレドニアの言語の文法記述、危機言語研究、言語類型論研究。著書に『Tinrin Grammar』(ハワイ大学出版)、編著書に『少数言語をめぐる10の旅』(三省堂)、訳書に『言語の興亡』(岩波新書)、絵本『ネズミのしっぽ』(福音館書店)などがある。NPO地球ことば村理事。

### 問合せ先

公益財団法人 ラボ国際交流センター 東京言語研究所

〒169-0072 新宿区大久保 1-3-21 新宿TXビル2階

TEL:03-6233-0631 FAX:03-6233-0633

ホームページ:<http://www.tokyo-gengo.gr.jp/>

講演要旨  
は裏面へ

## 【講義要旨】

オーストラリアの北東に位置するニューカレドニアは、本島とロワイヨテ諸島などの小さい島から成っており、人口は27万6千人、先住民族のメラネシア人と白人、更にインドネシア、ヴァヌアツ、ワリスなどからの移民が住んでいます。四国ほどの面積に公用語のフランス語のほか、28の先住民語、1つのクレオール語が話されています。オーストロネシア語族に属するとされる先住民語は非常に多様化しており、そのほとんどが話者数1000人に満たない少数言語です。

近年になって、これらの希少な言語を調査・研究する意義と、話者の社会の変化、言語シフト、話者の高齢化に伴う言語の消滅の危機が意識されるようになり、その結果これまで知られていなかった言語の実態が少しずつ明らかになってきました。私はニューカレドニア先住民語の調査を1980年代から行ってきましたが、言語学的にも驚くような多くの発見があり、また同時に、言語というものがまさに話者の生活に密着したものであり、彼らの精神世界を映し出すものであるということに気付かされました。

本講座ではメラネシア人の生活の様子、人々との交流、言語調査での体験についての話を交えながら先住民語のエッセンスを解説します。少数危機言語（といってもいろいろありますが）がどのようなものかについて少しでも知っていただくとともに、今後このような研究・調査に出かけてみたい、という方が増えることにつながれば有難いと思います。